



Be anything and study anywhere with the *TOEFL*[®] test.

TOEFL iBT[®]テスト受験者の皆様へ

TOEFL[®]テストは世界基準で行われている英語テストの中で最も歴史と実績のあるテストです。世界有数のテスト開発・リサーチ機関である米国の非営利教育団体Educational Testing Service(ETS)がテストの作成、運営を行っています。テストは大学等のアカデミックな環境で求められる英語運用能力を測定することを目的に、妥当性や信頼性等を考慮し、非常に高い精度で作成されているため、どの国でいつ受験しても受験者の英語力を正確に測定します。その妥当性・信頼性により、スコアを利用する5分の4の機関が*TOEFL*テストを最も信頼できるテストとして高く評価しています。*

本書は、*TOEFL iBT*テスト受験予定者を対象にテストの申込方法や受験上の注意事項などを簡単にまとめた*TOEFL iBT*テストに関するガイドです。受験者の皆様は*TOEFL*テスト公式Webサイトでの確認や作業が必要となりますが、本書が*TOEFL*テスト理解のために少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

*www.ets.org/toefl/institutions/preferred/

Contents

TOEFL®テスト _____ 1

TOEFLテストとは
TOEFL iBTテスト
TOEFL iBTテストの特長
TOEFL iBTテストの構成・時間配分・問題数・スコア

TOEFL iBT® テスト日程・申込・支払方法 _____ 2

テスト日程
申込までの流れ
受験料・その他料金
受験申込・支払方法

TOEFL iBT® テスト受験 _____ 4

受験の流れ
身分証明書(ID)
受験に関する規約
テスト日の変更・スコアのキャンセル

TOEFL iBT® テストスコア _____ 6

スコアの基本情報
スコアレポート
Official Score Reports (公式スコアレポート)
Test Taker Score Report (受験者用控えスコアレポート)

TOEFL iBT® テスト教材のご案内 _____ 8

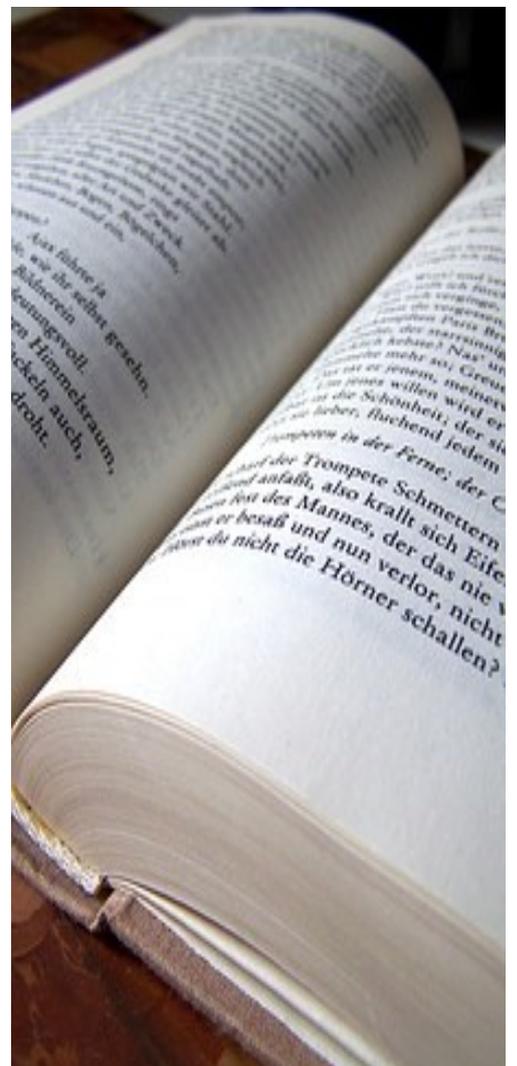
TOEFL iBT® テスト受験者のための参考リンク先一覧 _____ 10

TOEFL® テスト日本事務局Webサイト _____ 11

その他の有益な情報 _____ 12

TOEFL iBTテストとCEFRとの関連性について
TOEFLアセスメントファミリー

TOEFL iBT® テストに関する問い合わせ先 _____ 13



TOEFLテストとは

TOEFLテスト(Test of English as a Foreign Language)は、1964年に米国非営利教育団体Educational Testing Service (ETS)が英語を母語としない人々を対象に開発した世界基準の英語能力測定試験です。これまでに延べ3,500万人以上が受験し、世界で最も多くの受験者に利用されています。また150か国、10,000以上の大学等の機関が、入学選考、奨学金選考、海外派遣選考や単位認定など様々な場面で英語力の証明としてTOEFLテストのスコアを利用しています。

同テストは *TOEFL*® PBTテスト、*TOEFL*® CBTテストを経て、現在多くの国でインターネット形式のTOEFL iBTテストが実施されています。

TOEFL iBTテスト

TOEFL iBTテストは2005年9月に米国で導入され、日本では2006年7月から運用が開始されました。アカデミックなテストとして、コミュニケーションに必要な「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を総合的に、かつ高い精度・公平性をもって測定します。どれだけ英語を「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあてています。

TOEFL iBTテストの特長

- ◆テストセンターにてコンピュータ上で受験
- ◆インターネットから配信された問題を解答
- ◆全セクションでメモをとること(Note-taking)が可能
- ◆Integrated Task(同時に複数の技能を測定する問題)が出題



TOEFL iBTテストの構成・時間配分・問題数・スコア

セクション	時間	内容	スコア	スコアレベル*
Reading	54 - 72分	アカデミックな長文読解問題で構成 ■問題数：3または4パッセージ (各パッセージ約700語、10問)	0-30	High (22-30) Intermediate (15-21) Low (0-14)
Listening	41 - 57分	講義と会話の2種類の問題で構成 ■問題数：【講義】 3または4題 (各3-5分、約500-800語、6問) 【会話】 2または3題 (各約3分、5問)	0-30	High (22-30) Intermediate (15-21) Low (0-14)
休憩	10分	この間は問題を進めることができません。		
Speaking	17分	2種類の形式、全4問で構成	0-30	Good (26-30) Fair (18-25) Limited (10-17) Weak (0-9)
		<table border="0"> <tr> <td>Independent Task ■問題数：1問 ■時 間：準備15秒 解答45秒</td> <td>Integrated Tasks ■問題数：3問 (1) Read+Listen→ Speak 2問 ■時 間：準備30秒、解答60秒 (2) Listen→ Speak 1問 ■時 間：準備20秒、解答60秒</td> </tr> </table>		
Independent Task ■問題数：1問 ■時 間：準備15秒 解答45秒	Integrated Tasks ■問題数：3問 (1) Read+Listen→ Speak 2問 ■時 間：準備30秒、解答60秒 (2) Listen→ Speak 1問 ■時 間：準備20秒、解答60秒			
Writing	50分	2種類の形式、全2問で構成 (タイピングのみの解答)	0-30	Good (24-30) Fair (17-23) Limited (1-16) Score of zero (0)
		<table border="0"> <tr> <td>Integrated Task Read+Listen→ Write ■問題数：1問 ■時 間：20分</td> <td>Independent Task ■問題数：1問 ■時 間：30分</td> </tr> </table>		
Integrated Task Read+Listen→ Write ■問題数：1問 ■時 間：20分	Independent Task ■問題数：1問 ■時 間：30分			
Total	試験時間 3 時間		0-120	-

* High(高)/Intermediate(中)/Low(低)/Good(優)/Fair(良)/Limited(限定的)/Weak(極めて限定的)

* ReadingおよびListeningセクションのスコアは0-30でコンピュータにより採点

* Speaking セクションは4つの課題がそれぞれ0-4で採点され、その合計が0-30のスコアに変換
ETS認定の採点者により話題の展開力や英語運用能力について評価

* Writingセクションは2つの課題がそれぞれ0-5で採点され、その合計が0-30のスコアに変換
自動採点システム *e-rater*® と人間による採点を併用

Integrated task-----話題の展開、構成、文法、語彙、正確度、完成度を評価

Independent task----エッセイの展開、構成、文法、語彙など文章の全体的な質を評価

テスト日程

日本では年間約40回(月に2~5回)、土日を中心に実施されています。
www.cieej.or.jp/toefl/toefl/schedule.html

具体的なテスト日およびテスト会場は、ETSのTOEFLテスト公式Webサイト「Find Test Centers and Dates」(www.ets.org/toefl/centersearch)で検索できます。 テスト会場・日程検索⇒



申込までの流れ

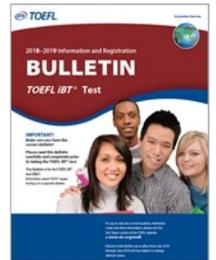
実際の受験申込までに準備しておくことがあります。
以下の各STEPを確認の上、余裕をもって受験計画を立てることをお勧めします。

STEP 1

重要

Bulletin 入手・内容確認

BulletinとはTOEFL iBTテストの受験要綱です。このBulletinは全世界共通で、すべて英語で書かれています。受験者は必ず申込前にこれを読み、内容を確認する必要があります。ETSは、受験者がBulletinの内容を理解し全ての条項に同意した上で申込および受験しているとみなしています。BulletinはTOEFLテスト公式Webサイトから入手できます。
www.ets.org/jp/toefl/ibt/about/bulletin



STEP 2

重要

身分証明書(ID)準備

IDは原則として、テスト当日に有効期限内のパスポートです。ETSが規定した以外のIDでは受験できません。テスト当日に規定のIDを提示できない場合は、いかなる理由があっても受験は許可されません。詳細は本書5ページ参照

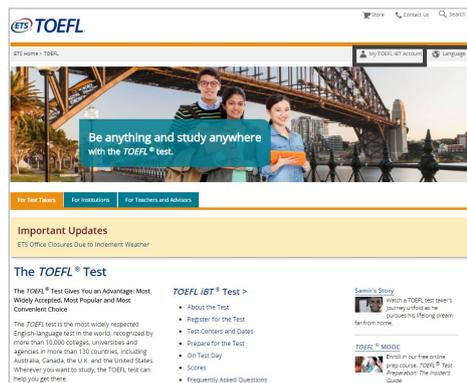
STEP 3

重要

個人アカウントページ「My TOEFL Home」作成

受験申込にはTOEFLテスト公式Webサイト上で「My TOEFL Home」と呼ばれる個人アカウントページの作成(無料)が必須です。作成後、氏名・生年月日の訂正・変更はできないため、氏名は当日持参のIDと同じ氏名およびスペルで、間違いのないように登録してください。受験スケジュール・会場確認、受験申込、スコア確認、スコアレポート送付依頼などは「My TOEFL Home」上で行います。

TOEFLテスト公式Webサイトトップ画面



「My TOEFL Home」トップ画面



- ① TOEFLテスト公式Webサイト(www.ets.org/toefl)トップ画面の右上にある「My TOEFL iBT Account」から「My TOEFL Home」トップ画面へアクセス
※画面右上にある言語設定で「Japanese」を選択すると、日本語表示に変更可能
- ② 新規作成は「新しいユーザー」から「アカウントを作成する」をクリック
- ③ 作成後は「ユーザー名」「パスワード」を入力し、「サインイン」をクリック

STEP 4

申込・支払方法の確認

受験の申込は、オンライン、電話、郵送の3種類です。申込方法によって、申込締切日や利用できる支払方法が異なりますのでご注意ください。詳細は本書3ページ参照

STEP 5

申込

オンライン、電話、郵送のいずれかの方法でお申込ください。

受験料・その他料金

日本におけるTOEFL iBTテストに関連する料金は以下の通りです。(2019年8月現在)

受験料*1	通常の申込 US\$235	オンライン/電話	テスト日の7日前まで(中6日)
		郵送	一番早いテスト希望日4週間前必着
	通常の申込締切日以降 US\$275 *2	オンライン	テスト日の4日前まで(中3日)
		電話	テスト日の前営業日17時まで
テスト日・会場変更	US\$60	オンライン	テスト日の4日前まで(中3日)
		電話	テスト日の4日前まで(中3日) RRC予約センター※が非営業日の場合は直前の営業日
キャンセル払戻	受験料の50%	オンライン	テスト日の4日前まで(中3日)
		電話	テスト日の4日前まで(中3日) RRC予約センター※が非営業日の場合は直前の営業日
スコアレポート 送付手続	1件につき US\$20	テスト日以降のスコアレポート送付手続料金 テスト前日午後10時までは4校まで無料で送付手続をすることができます。 詳細は本書6-7ページ参照	

*1 受験料は国によって異なります。*2 US\$235 + 手数料US\$40

受験申込・支払方法

オンライン申込の場合、申込・支払が行われた時点でテスト日・受験会場が確定します。

申込はテスト開催日の約6か月前より可能です。

オンライン ¹	クレジットカード ²	締切日：テスト日7日前(通常の申込) 1. TOEFLテスト公式Webサイト内「My TOEFL Home」にログイン 2. 「テスト」の「登録/テスト会場、試験日の検索」から申込 3. 希望テスト日、会場等を選択し、必要事項を入力 4. クレジットカードまたはPayPal account情報を入力 5. 「My TOEFL Home」で申込内容確認
	PayPal account	
電話 ¹	クレジットカード ²	締切日：テスト日7日前(通常の申込) 1. 以下の物を用意し、RRC予約センター※へ電話 ◆ テスト当日持参する身分証明書 ◆ クレジットカード ◆ ETS ID (「My TOEFL Home」の右上に記載) 2. 手続終了後、「My TOEFL Home」で申込内容確認
郵送	クレジットカード ²	締切日：一番早いテスト希望日4週間前必着で申込書送付 1. TOEFLテスト公式Webサイト上の申込書「TOEFL iBT® TEST REGISTRATION FORM」に必要事項を記入し、RRC予約センター※へ送付 2. 確認書が届いたら「My TOEFL Home」とともに内容確認 (確認書が届かない場合はRRC予約センター※に電話)

※RRC予約センター【TOEFL iBT® Regional Registration Center (RRC)】

プロメトリック株式会社 RRC予約センター TOEFL iBTテスト係 ※住所・電話番号は本書p.13に掲載

*1 オンライン・電話申込の場合、通常の申込締切日を過ぎても空席がある場合にはUS\$275で申込可能

*2 クレジットカードはAmerican Express®、Discover®、JCB®、China Union Pay®、Diners Club®、VISA®、MasterCard®のみで、受験者名義でなくても所有者の了承があれば使用可能

* Western Union Quick PaySM等での支払についてはBulletin(受験要綱)を確認してください。

* 銀行、クレジット(デビット)カード会社によって支払を却下された場合、手数料US\$20がかかります。

◆日本円での支払について

オンラインでの申込やスコアレポートの追加送付手続などのサービス利用時に、ドル建て以外に日本円でも支払が可能です。対応クレジットカードは、VISA®、MasterCard®です。なお日本円によるTOEFLテスト受験料の支払額は毎日の外国為替レートに基づいています。

◆受験規定について

・TOEFL iBTテストを再度受験する場合は、受験間隔を中3日(受験日を含まず)空ける必要があります。

・未成年者の申込には保護者の同意が必要です。

・15歳以下の受験者は保護者または18歳以上の大人の付き添いを推奨します。(※15歳以下の受験者のみで来場した場合でも原則として受験は可能です。) 付き添いの保護者または18歳以上の大人の方で、試験が終了するまで会場内での待機を希望する場合は、免許証、パスポート、マイナンバーカード(プラスチック製)いずれか1点の提示が必要です。本規定に関するBulletinの該当項目(Test Takers 15 Years of Age or Younger)の内容は必ず確認してください。

受験の流れ

テスト前日

STEP 1 申込内容ページの確認・印刷

- ・テスト開始時間や会場、その他変更があった場合は「My TOEFL Home」の「テスト」内「今後のテスト」にある「表示/修正」をクリックしたページに変更事項が掲載されますので、**テスト前日に確認**してください。
- ・「予約番号」が記載されたページを印刷し、テスト当日に持参してください。

STEP 2 スコアレポート送付手続の確認

テスト前日の午後10時までに「Official Score Reports」(4校まで)、「Test Taker Score Report」(1通)の送付手続をした場合は**無料**でETSから送付されます。それ以降の手続は有料となります。詳細は本書6-7ページ参照

STEP 3 携行品の準備

以下2点を必ず準備し、当日持参してください。

- ・規定の身分証明書(原則：有効期限内のパスポート原本) 詳細は本書5ページ参照
- ・「予約番号」*が記載されたページの印刷物
*「My TOEFL Home」の「テスト」内「今後のテスト」にある「表示/修正」をクリックした画面に表示される

◆その他の持ち物について

テスト会場内への身分証明書以外の持込は基本的に禁止されています。テスト会場では個人の所有物紛失に関する責任は負いませんので、必要最小限の荷物を持っていくことをお勧めします。

テスト当日

- ・各テスト会場での注意・規則(喫煙、飲食場所等)は必ず守ってください。
- ・テスト会場のいかなる室温でも調整できるような服装で受験してください。

STEP 1 チェックイン

- ・予約したテスト開始時間の30分前までに集合
- ・会場で渡される書類を記入してスタッフに提出
- ・準備が整った受験者から順次チェックイン手続(スコアレポート用写真撮影等含む)を行い、指定された席に着席
- ・コンピュータ画面に表示されている自分の写真と名前を確認し、テストを開始

◆遅刻した場合は受験できず、受験料の返金もありません。

STEP 2 テスト受験

- ・米国式キーボード配列のコンピュータを使用
- ・補助が必要なときはその場で挙手して試験監督者に合図
- ・開始時に配られたメモ用紙はテスト終了時に必ず返却(持ち帰り不可)

◆日本式キーボードを使用しているテスト会場では、配列の変更箇所についての案内があります。

www.cieej.or.jp/toefl/toefl/Keyboard2009Mar.pdf (キーボード配列)

◆公式スコアを受け取るには、各セクションにおいて1題以上解答する必要があります。

STEP 3 テスト終了

- ・スコアキャンセルに注意

◆テスト終了時に画面上で「スコアをキャンセルする」を選択すると、全セクションのスコアがキャンセルされ、スコアレポートは発行されず、受験者本人にもスコアは通知されません。キャンセルしたスコアの復活(有料・テスト日後60日以内)についてはBulletin(受験要綱)を確認してください。

◆テスト会場でスコアレポートの送付手続、送付先の変更・キャンセルをすることは一切できません。

身分証明書(ID)

日本国内で受験する場合、以下3パターンのID(テスト当日に有効期限内かつ原本に限る)が有効となります。受験時に認められるIDはETSの定めるIDのみです。事前に必ず確認し、テスト当日は忘れずに持参してください。規定のIDを提示できない場合、いかなる理由があっても受験は許可されません。

①
1点で有効

パスポート テスト当日に有効期限内かつ原本に限る

②
2点(A+B)
で有効

A
Confirmation of Identity Letter

発行日より1年間のみ有効

LetterのサンプルはCIEEサイトに掲載
www.cieej.or.jp/toefl/toefl/ID.pdf

+

B
運転免許証
個人番号カード
住民基本台帳カード
在留カード
特別永住者証明書

いずれか
1点

全て顔写真付の場合のみ有効

③
2点(A+B)
で有効

日本国籍者のみ

A
学生証

日本国内の中学校・高等学校・高等専門学校・
大学・公的機関が設置する職業訓練校および都
道府県知事が認可する専門学校が発行するもの
に限る

署名かつ顔写真付の場合のみ有効

+

B
運転免許証
個人番号カード
住民基本台帳カード

いずれか
1点

全て顔写真付の場合のみ有効

<その他の注意点>

- 「My TOEFL Home」に登録されている氏名と当日提示するIDの氏名のスペルは完全に一致している必要があります。
- 保険証、クレジットカード、公証文書、社員証等、Bulletin(受験要綱)規定以外のものは認められません。
詳細については、Bulletin(受験要綱)の「Identification (ID) Requirements」の項目をご確認ください。

受験に関する規約

テスト会場では定められた規定・手順に従ってください。

チェックイン時の手順や受験時の不正とみなされる行為はBulletin(受験要綱)の「ON TEST DAY」に記載されています。必ず読み、よく理解しておく必要があります(TOEFLテスト公式Webサイトにも日本語で記載されています。「TOEFL iBT®テストに関する規約」参照)。規約に従わなかった場合、退出を命じられたりスコアが取り消されたりすることがあります。そのような場合、受験料は一切返金されません。

テスト日の変更・スコアのキャンセル

天候その他のやむを得ない状況により、ETSが開始時間の遅延やテスト日の変更、テスト後のスコアのキャンセルを行う場合があります。

<p>テスト日の変更</p>	<p>テスト当日までにETSによってテスト日が変更された場合は、受験者は別のテスト日を選択することができます。その際、テスト日変更の手数料はかかりません。また、テスト会場到着後、ETSによりテストがキャンセルされたことを試験監督者から知らされた場合は、無料でテスト日の変更を行うか、受験料の全額払い戻しを受けることができます。</p>
<p>スコアキャンセル</p>	<p>受験後、ETSによりスコアがキャンセルされた場合、ETSの独自の裁量により、受験者に無料再受験あるいは払い戻しを受ける資格があるかどうか判断されます。</p>

※移動費用について

ETSによるテスト実施のキャンセルもしくは受験後にスコアキャンセルが生じた場合、受験者は当初のテスト日から30日以内に、受験者本人分に限り移動費用の払い戻しを請求することができます。

TOEFL iBT®テストスコア

TOEFL iBTテストのスコアは各セクション0-30点で表記され、4セクションの合計は0-120点です。合否判定はありません。通常、受験者が出願する大学などの機関が必要なスコアを提示します。

スコアの基本情報

スコアの有効期間	テスト日から2年間
採点期間	テスト日から約10日間
スコアの確認	テスト日から約10日後 「My TOEFL Home」の「スコア」から確認可能
スコアレポートの種類	1. Official Score Reports (公式スコアレポート) 2. Test Taker Score Report (受験者用控えスコアレポート)

スコアレポート

1. Official Score Reports (公式スコアレポート)

ETSより送付依頼先へ直接送付される公式スコアレポートです。

テスト前日の午後10時までであれば、4校まで無料※で送付依頼手続、送付先の変更・削除ができます。午後10時以降は有料(1校につきUS\$20)となり、送付先の変更・削除もできません。

送付手続方法 (受験後の有料手続の場合)

オンライン

クレジットカード^{*1}

PayPal account

1. TOEFLテスト公式Webサイト内「My TOEFL Home」にログイン
2. 「スコア」の「追加のスコアレポートを送信する」から手続
3. 送付するスコアレポートのテスト日を選択
4. 送付先^{*2}を指定

FAX

クレジットカード^{*1}

1. TOEFLテスト公式Webサイトから、「TOEFL iBT® ADDITIONAL SCORE REPORT REQUEST FORM」をダウンロード
2. 送付するスコアレポートのテスト日と送付先^{*2}等必要事項を記入し、下記へ送付

郵送

クレジットカード^{*1}

FAX : 1-610-290-8972
郵送 : ETS-TOEFL iBT
PO Box 6153, Princeton, NJ, 08541-6153 USA

※受験申込後の無料手続は「My TOEFL Home」の「テスト」内「今後のテスト」にある「表示/修正」より行ってください。

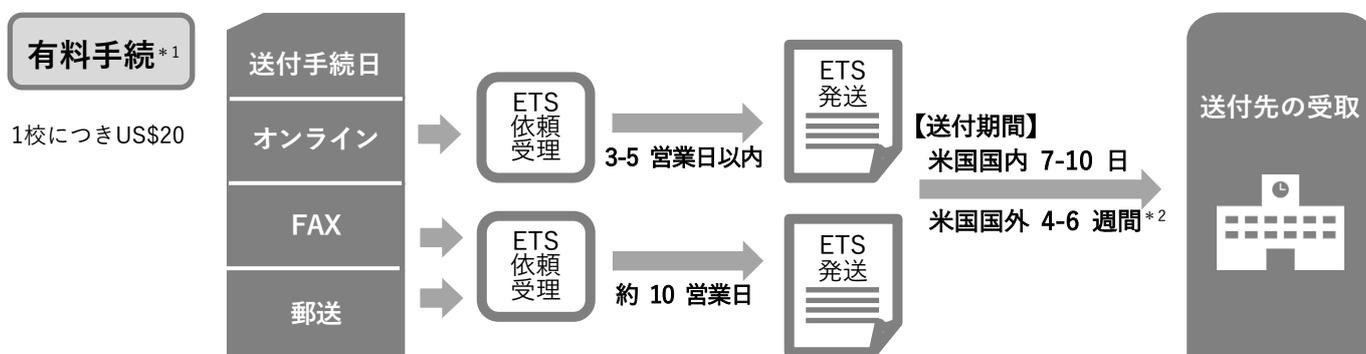
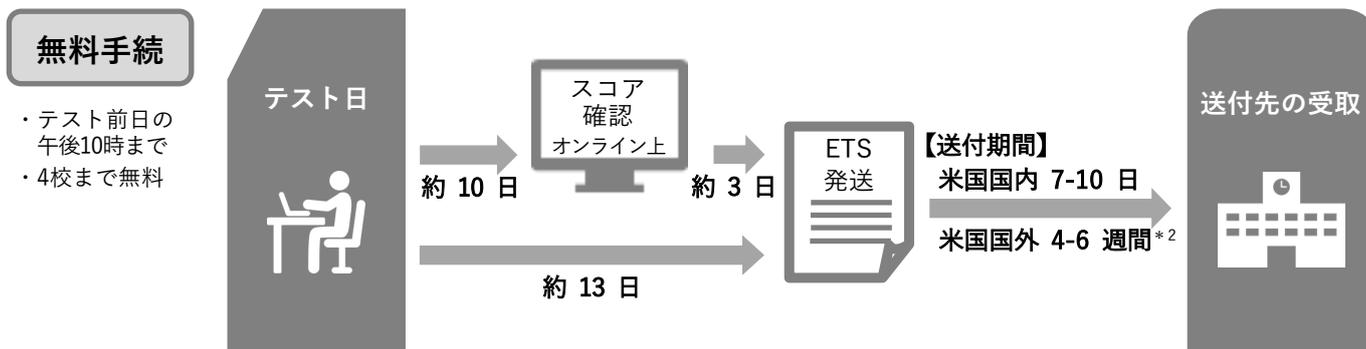
*1 クレジットカードはAmerican Express®、Discover®、JCB®、China Union Pay®、Diners Club®、VISA®、MasterCard®のみ (オンライン手続の場合は日本円での支払可。ただし、VISA®、MasterCard®に限る)

*2 送付(出願)先が「Institution Code(4桁の数字、または4文字の英数字)」を持っている場合はこれを入力、または記入。このコードを保有しているどうかは、送付先に確認するか、TOEFLテスト公式Webサイトで確認してください。

「Department Code」について

オンライン手続 --- 大学の場合は「Undergraduate」を選択、大学院の場合は該当の分野を選択

送付手続から発送、送付先のスコアレポート受取までの期間



*1 有料手続はスコア確認可能日(テスト日より約10日)以降行えます。

*2 郵便事情により、受取までに時間がかかる場合があります。各国の郵便事情についてはETSの管理外となります。お住まいの地域の詳細情報については、お近くの郵便局にお問い合わせください。

2. Test Taker Score Report (受験者用控えスコアレポート)

Test Taker Score Report(受験者用控えスコアレポート)の受取を希望する場合は、テスト申込時に「無料スコア送付先」画面内にある「あなたへのスコア通知設定」の項目で「オンライン上でのスコアレポートと郵送されたコピー」を選択する必要があります。テスト申込完了後に送付手続を行う場合、テスト日前日の午後10時までは無料で手続ができます。その際は「My TOEFL Home」の「テスト」内「今後のテスト」にある「表示/修正」より行ってください。

テスト申込時に行う受取設定方法

あなたへのスコア通知設定

スコアは、テスト日から10日後にオンラインで確認できます。印刷されたスコアレポートを希望する場合は、該当するスコア通知オプションを次の中から選択してください。

- オンライン上でのスコアレポートのみ
- オンライン上でのスコアレポートと郵送されたコピー

※テスト日前日の午後10時までに手続をしなければ、スコアレポートは無料で発行・送付されません。

※テスト日以降は「My TOEFL Home」より追加(有料US\$20)で依頼できます。その際は「スコア」の「追加のスコアレポートを送信する」より手続をください。

※TOEFL iBTテストのTest Taker Score Reportは、テスト日から約13日後に「My TOEFL Home」よりダウンロード(印刷)できます。

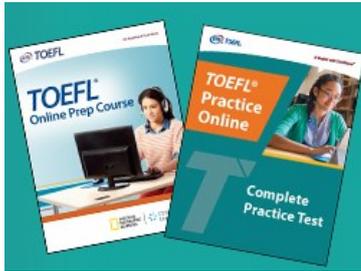
「MyBest™ scores」の導入について

「MyBest™ scores」(MyBestスコア)とは、受験者の過去2年間の有効な全てのTOEFL iBTテストスコアから各セクションの最も高いスコアを組み合わせたスコアのことです。2019年8月1日以降に発行される全てのTOEFL iBTテストスコアレポート(Official Score Reports、Test Taker Score Report)には、毎回、各テスト日の試験結果(Test Date スコア)と併せて、このMyBestスコアが自動的に掲載されます。

www.cieej.or.jp/toefl/20190527_3.pdf

TOEFL iBT®テスト教材のご案内

CIEE TOEFL®テスト公式教材ショップ www.ciee-onlineshop.jp (掲載教材：2019年8月現在)



TOEFL®テスト公式教材ショップをおすすめする3つのポイント

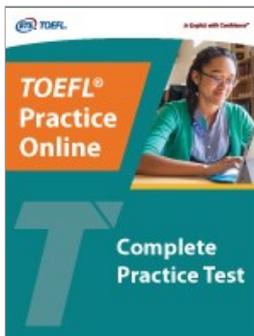
- その1 オンライン公式教材の**日本国内での販売は唯一当店のみの取り扱い!**
- その2 Amazon Payをはじめ、**選べる豊富な支払方法!**
- その3 紙教材は**送料無料**、オンライン教材はE-mail対応だから**送料なし!**

ETSはTOEFL iBTテストやTOEFL ITP®テストのテキストや問題集などの公式教材を制作しています。ETSはテストの作成・運営団体ですので、公式教材のほとんどの問題に本番で使用した過去問が含まれており、中には指示文においても本番のテストと全く同じ教材をご用意しています。ETSだからこそお伝えできるテストのキーポイントや解説など、TOEFLテスト受験者にとって役に立つ情報も満載です。また問題数をこなしたいというTOEFL iBTテスト受験者のための問題集や本番同様のテストを自宅で模擬体験したいという方のためのオンライン模試など、ETSのTOEFLテスト公式教材は受験者の様々なご要望に"本物のTOEFLテスト問題"でお応えする信頼の教材です。

オンライン教材

TOEFL iBTテストとはどんなテストなのか体験したい、本番受験前に画面操作を知っておきたい、どれくらいスコアが取れるか試したい…そんな方は、ETS公式のオンライン教材を使ってテスト本番に備えましょう。

公式オンライン模擬テスト **TOEFL iBT® Complete Practice Test**



- ▶ 唯一のTOEFL iBTテストと同形式の問題
- ▶ TOEFL iBTテストで実際に出題された過去問題
- ▶ インターネット接続のパソコン*があれば、いつでもどこでもできる
- ▶ 全セクション(リーディング・リスニング・スピーキング・ライティング)収録
- ▶ 終了後、全セクションのスコアが見られる

対応OS : Windows 7以上 Mac OS X 10.9以上

*ご購入前にご使用になるパソコンの「確認」及び「事前準備」が必要になりますのでご注意ください。

☞こんな方におススメ

出題形式や解答方法に慣れたい!本番形式で練習したい!自分の点数をとりあえず知りたい!

ETS公認オンライン練習問題 **TOEFL® Online Prep Course**



- ▶ 4つのスキルセクションのプレテスト診断から、あなただけの学習プランを作成
- ▶ TOEFL iBTテストの出題形式を基にした80時間分もの問題
- ▶ 自動採点(スピーキング・ライティングの自由解答は自己採点ガイド付き)
- ▶ カーネギースピーチの最先端音声認識技術で素早いフィードバック
- ▶ 解答音声ファイルやライティングの自由解答を保存

対応OS : Windows 7/8/8.1/10 Mac OS X 10.9以上

ご購入前に「利用システム要件」をご確認ください。

☞こんな方におススメ

パソコンで問題を解くことに慣れたい! 苦手分野を何度も練習したい! TOEFL iBTテストの出題形式で学習したい!

www.ciee-onlineshop.jp/comparison

教材比較表で中身を確認。目的に合った教材をお求めください。



テキスト・過去問題教材

実際に使用された過去問を解かずに本番のテストを受けるなんてもったいない！本番のテスト形式、傾向、レベルを無駄なく学べるテキスト、過去問題集をぜひご利用ください。

ETS公認ガイド TOEFL iBT®第4版 CD-ROM版



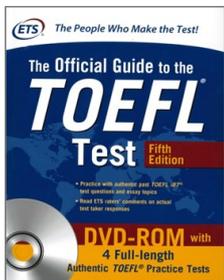
- <主な内容>
- ▶ TOEFL iBTテストと同形式の問題 2回分 (CD-ROMにも収録)
 - ▶ 各セクションの出題内容日本語解説付問題 1回分
 - ▶ 全問題・解答・解説の日本語訳
 - ▶ スピーキング・ライティングセクションの解答例など

こんな方におススメ

まずは日本語でじっくりとTOEFL iBTテストを知りたい!

日本語訳付
CD-ROM

The Official Guide to the TOEFL® Test 5th Edition



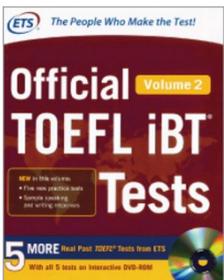
- <主な内容>
- ▶ TOEFL iBTテストと同形式の問題 4回分 (DVD-ROMにも収録)
 - ▶ リーディングセクション問題
 - ▶ リスニングセクション問題
 - ▶ リーディング・リスニングセクション問題の解答・解説
 - ▶ スピーキング・ライティングセクションの問題の解答のポイント
 - ▶ スピーキング・ライティングセクションの問題の解答例と解答例に対する採点官のコメント

こんな方におススメ

英語は得意! テストの概要はもちろん、問題も解説も英語で学びたい!

全編英語
DVD-ROM

Official TOEFL iBT® Tests Volume 2 DVD-ROM版



- <主な内容>
- ▶ TOEFL iBTテストと同形式の問題 5回分 (DVD-ROMにも収録)
 - ▶ リーディング・リスニングセクションの解答 (解説なし)
 - ▶ スピーキング・ライティングセクションの問題の解答のポイント
 - ▶ スピーキング・ライティングセクションの問題の解答例と解答例に対する採点官のコメント

こんな方におススメ

過去問で問題数をとにかくこなしたい! コンピュータ上で問題を解き進めたい! サンプル解答が見たい!

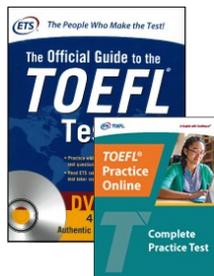
全編英語
DVD-ROM

自主学習セット

全ての受験者の皆様を応援するお得な教材セットは下記以外にもご用意しています。オンラインショップでご確認ください。TOEFL iBTテスト受験までの期間に合わせて苦手セクションのスキルアップが図れる教材で効率的に自主学習を進めましょう。



TOEFL iBTテストビギナーズセット



TOEFL iBTテストバリエーションパック(CIEE発送)



TOEFL iBTテスト対策講座セット

www.ciee-onlineshop.jp

お支払は、Amazon Pay・クレジットカード・銀行振込・コンビニ払いがご利用になれます。



TOEFL iBT®テスト受験者のための参考リンク先一覧

TOEFL®テスト作成・運営団体であるETSのTOEFLテスト公式Webサイトには受験者にとって有益な資料や情報が多数あります。このリストを活用して、知りたい情報に直接アクセスしてみてください。

TOEFL iBTテスト全般

① TOEFL®テスト公式Webサイト

www.ets.org/toefl



② Bulletin (受験要綱)

受験者必読の受験要綱

www.ets.org/jp/toefl/ibt/about/bulletin



③ TOEFL® Go Anywhere

受験者向けTOEFLテスト情報サイト

www.toeflgoanywhere.org



④ 特別配慮を必要とする受験者の方へ

www.ets.org/jp/toefl/ibt/register/disabilities



⑤ 受験に関する諸注意

www.ets.org/jp/toefl/ibt/test_day/expect



⑥ ビデオライブラリー

www.ets.org/jp/toefl/ibt/about/video_library



TOEFL iBTテスト対策・英語学習

① Inside the TOEFL® Test video series

全セクションの各Questionに関する詳細を解説するビデオシリーズ

www.ets.org/jp/toefl/ibt/about/video_library



② TOEFL® Test Prep Planner

テスト日までの8週間の目標や課題、効果的な勉強方法を紹介

www.ets.org/s/toefl/pdf/toefl_student_test_prep_planner.pdf



③ TOEFL iBT® Quick Prep

TOEFL iBTテストの過去問題を利用した問題集

www.ets.org/toefl/ibt/prepare/quick_prep



④ TOEFL iBT® Interactive Sampler

PCで解く4セクションのサンプル問題

www.ets.org/jp/toefl/ibt/prepare/toefl_interactive_sampler



⑤ TOEFL iBT® Test Questions

TOEFL iBTテストの過去問題

www.ets.org/toefl/ibt/prepare/test_questions



⑥ Improve Your Skills

セクション別・レベル別の学習方法

www.ets.org/toefl/ibt/scores/improve



⑦ TOEFL iBT® Scoring Guide (Rubrics)

Speakingセクションの採点基準表

www.ets.org/s/toefl/pdf/toefl_speaking_rubrics.pdf



Writingセクションの採点基準表

www.ets.org/s/toefl/pdf/toefl_writing_rubrics.pdf



⑧ TOEFL® TV Channel

英語力向上のためのヒントを映像で紹介

www.youtube.com/user/TOEFLtv



⑨ セクション別対策

■ Reading

Smithsonian Magazine
www.smithsonianmag.com

■ Speaking

National Geographic
www.nationalgeographic.com

■ Writing

Criterion®トピック紹介
【英文ライティング指導ソフト】
www.cieej.or.jp/toefl/criterion/topic.html

■ Listening

-Voice of America
www.voanews.com

-BBC Learning English
www.bbc.co.uk/learningenglish/

-CNN Audio & Video Podcasts
podcast.cnn.com/

-National Public radio
www.npr.org

-NOVA Science Now
www.pbs.org/wgbh/nova/sciencenow

スコアについて

① TOEFL® Destination Search

スコア受取団体・機関の検索

www.toeflgoanywhere.org/search-who-accepts-toefl



② レベル別スコア評価の解説

www.ets.org/s/toefl/pdf/performance_feedback_brochure.pdf



TOEFL®テスト日本事務局Webサイト

TOEFLテスト日本事務局であるCIEEのWebサイトにもTOEFL iBTテスト受験者の皆様や英語教育に携わる皆様のお役に立つ様々な情報を日本語で掲載しています。左記ページのリストと併せてご活用ください。

TOEFL iBTテスト学習者用

テスト日程や「My TOEFL Home」作成方法などTOEFL iBTテスト受験手続に関してより詳細な情報を掲載しています。また公式教材、Webマガジンやスキルアップセミナー開催予定などの受験対策に役立つサービス・情報も提供しています。

[テスト概要/申込の前に/申込方法/スコア/データライブラリー/学習サポート](#)

www.cieej.or.jp/toefl



団体・教職員用

当事務局では団体・教職員向けのWebサイトを設け、大学入試や英語指導・英語教育等に関する有益な情報を掲載しています。

大学入試関連

- 大学入試英語成績提供システム
- 大学入試におけるTOEFL iBTテストスコアの活用状況
- TOEFL iBTテスト概要
- TOEFL iBTテストスコア概要
(採点方法・基準/スコアの解釈/CEFRとの比較等)
- スコア受取団体になるための手続 他

英語指導・英語教育関連

- TOEFL iBTテスト/TOEFL ITPテスト概要
- TOEFLテストライブラリー
(ETS関連リサーチ/リソース)
- 団体支援事業 (教育団体/国/自治体)
- 英語教員支援事業 他
(TOEFL iBTテストPropellワークショップ/英語教員対象特別受験制度/TOEFLテスト公式教材/Criterion/導入・活用実践事例)

www.toefl-ibt.jp



TOEFL® Web Magazine

当事務局が英語学習者、英語教育者向けに毎月発行しています。

TOEFL®テスト

- ETS公認トレーナーが解決! TOEFL®テスト質問箱
- TOEFL® TESTスピーキング英単語 ワンポイント講義
- ETS公認トレーナー直伝
TOEFL iBT®テスト対策、ここがポイント!
- ETS公認トレーナーと勉強しよう!
TOEFL iBT®テストWeb準備講座
- TOEFL®テストに役立つ! 世界基準の語彙学習法
- TOEFL iBT®テストミニアドバイス
- TOEFL iBT®テスト体験レポート
- TOEFL ITP®テスト受験者の声

For Test Takers

- 達セミに学ぶ 英語学習のヒント

For Educators

- ユーザーの声
- 授業での実践事例
- CIEEレポート

Interview

- スペシャルインタビュー
- 大学・高校トップに聞く
- For Lifelong English
- 留学経験者インタビュー
- キャリアを広げて世界に羽ばたく

www.cieej.or.jp/toefl/webmagazine



LINE (日本語)
@toefl



Twitter (日本語)
@TOEFL_mag



Facebook (英語)
@TOEFL



Instagram (英語)
toefl_official

その他の有益な情報

TOEFL iBTテストとCEFRとの関連性について

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment)

CEFR(日本では「ヨーロッパ言語共通参照枠」とも呼ばれている)は、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために透明性が高く分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして20年以上にわたる研究を経て策定されたもので、欧州域内外で使われています。*

CEFRのレベルは6段階(A1、A2、B1、B2、C1、C2)に分けられており、A1・A2は基礎段階の言語使用者、B1・B2は自立した言語使用者、C1・C2は熟練した言語使用者と位置づけられています。

ETSは、TOEFL iBTテストとCEFRとの関連性について調査研究の結果、下表のとおり発表しています。

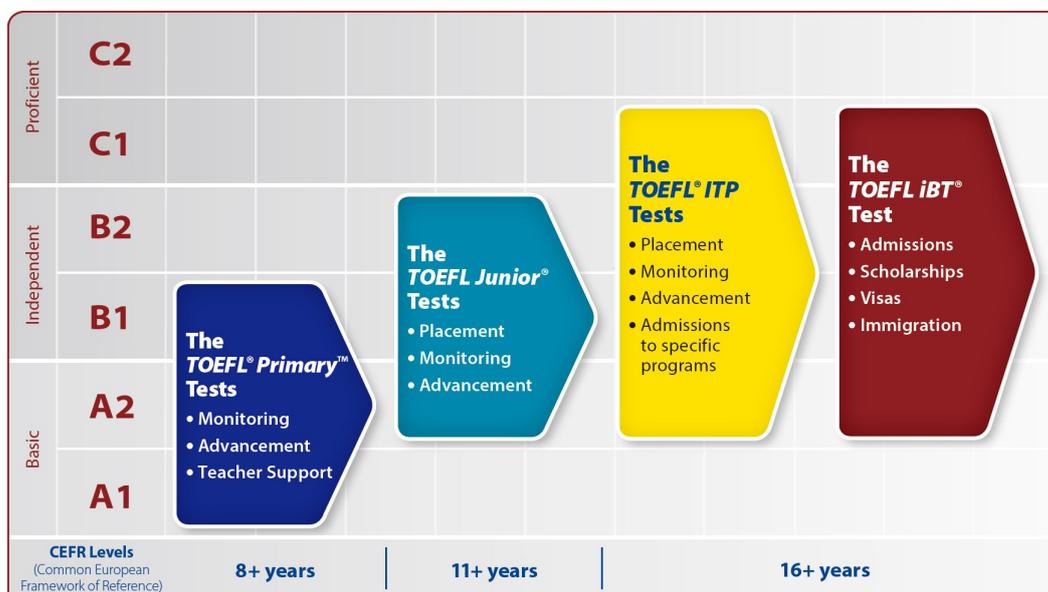
CEFR level	Reading (0-30)	Listening (0-30)	Speaking (0-30)	Writing (0-30)	Total (0-120)
C1 or above	24	22	25	24	95
B2	18	17	20	17	72
B1	4	9	16	13	42
A2	n/a	n/a	10	7	n/a

出典「The Association Between *TOEFL iBT*® Test Scores and the Common European Framework of Reference (CEFR) Levels」
(www.ets.org/Media/Research/pdf/RM-15-06.pdf)

*英語4技能試験情報サイト(4skills.jp/qualification/cefr.html)参照

TOEFLアセスメントファミリー

TOEFL®アセスメントファミリー(*TOEFL*® Family of Assessments)は、ETSが提供するTOEFL iBTテスト、TOEFL ITPテスト(団体向けTOEFLテストプログラム)、*TOEFL Junior*®テスト、*TOEFL Primary*®テストの総称です。これらのテストは学習者のCEFRレベルや年齢、またテストの利用目的に応じて使い分けながら、継続して利用することができます。



出典 www.ets.org/s/toefl_family/pdf/toefl_family_brochure.pdf

TOEFLアセスメントファミリー	www.ets.org/toefl_family
TOEFL ITPテスト	www.ets.org/toefl_itp (ETS) www.cieej.or.jp/toefl/itp/ (CIEE)
TOEFL Juniorテスト、TOEFL Primaryテスト	www.ets.org/toefl_young_students_series (ETS) gc-t.jp (株式会社 公文教育研究会 グローバル・コミュニケーション&テストイング)

TOEFL iBT®テストに関する問い合わせ先

日本国内における受験者に対するTOEFL iBTテストの問い合わせ先は内容によって異なります。以下をご確認の上、お問い合わせください。

受験前

受験申込、テスト日・会場変更、受験キャンセル等の受験に関する一般情報について

TOEFL iBT® Regional Registration Center (RRC) プロメトリック株式会社 RRC予約センター

TEL	03-6204-9830 (9:00~18:00 土日祝休)
郵送	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア5F
URL	www.prometric-jp.com
コンタクトフォーム	https://w1.prometric-jp.com/contact/agree0010.html

※受験者のプロフィール情報変更については以下のETS TOEFL Servicesにお問合せください。

TOEFL®テスト主催団体 Educational Testing Service (ETS) TOEFL Services

TEL	+1-609-771-7100 (8:00~19:45 米国東部時間 土日祝休 ※6~8月は8:00~17:45)
FAX	+1-610-290-8972
郵送	TOEFL Services, Educational Testing Service PO Box 6151 Princeton, NJ08541-6151, USA
URL	www.ets.org/toefl
Eメール	toefl@ets.org

受験後

スコア、スコアレポート発行・発送状況について

TOEFL®テスト主催団体 Educational Testing Service (ETS) Customer Support Center in Japan

TEL	0120-981-925 (フリーダイヤル) (9:00~17:00 土日祝休)
Eメール	TOEFLSupport4Japan@ets.org

受験準備

テスト一般情報(Webサイト)、教材について

TOEFL iBT® Resource Center in Japan 一般社団法人 CIEE国際教育交換協議会 TOEFL®テスト日本事務局

URL	www.cieej.or.jp www.cieej.or.jp/toefl
-----	------------------------------------------

CIEEのWebサイトでは、TOEFL iBTテストに関する基本的な情報(テスト概要・申込方法、スコア確認方法、身分証明書に関する注意事項等)や一般的な質問のほか、受験準備、スキルアップセミナー・英語教員向けワークショップの開催等の情報を日本語で掲載しています。また、ETS公式教材を同サイトのTOEFLテスト公式教材ショップにて販売しています。詳細は本書11ページ(一般情報)、8-9ページ(教材)参照

本書の記載事項・情報は2019年8月現在のものであり、TOEFL iBT®テスト主催団体ETSのポリシー変更により予告なく規定が変更になることがあります。
最新情報は、必ずTOEFLテスト公式Webサイト(www.ets.org/toefl)をご確認ください。



Educational Testing Service(ETS)は1947年に創設された米国ニュージャージー州に拠点を置く非営利の教育団体です。世界180か国、10,000か所以上で、毎年TOEFL®アセスメントファミリー(TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テスト、TOEFL Junior®テスト、TOEFL Primary®テスト)をはじめ、TOEIC®テスト、GRE® General Test、Praxis® Testsといった5,000万件以上のテストの開発、実施、採点を行っています。
また、教育研究・分析、教育政策研究を行い、教員認定、英語学習、初等・中等・高等教育に関するさまざまなカスタマイズサービスおよび製品の開発を手掛けています。世界中で3,200名以上のスタッフがETS事業に携わり、学生や保護者をはじめ、教育機関、政府機関などにもこれらのサービスを提供しています。



CIEEは1947年にアメリカで設立された非営利法人です。現在メイン州ポートランドに本部を置き、学生、社会人、教員を対象とした様々な国際交流プログラムを開発・運営しています。
日本代表部は1965年東京に開設されて以来、日本の国際交流の草分けとして様々な国際交流プログラムを運営し、これまでに7万人がCIEEのプログラムに参加しています。
また、1981年以降米国Educational Testing Service (ETS) の委託を受け、TOEFL®テスト日本事務局としてTOEFL®テスト広報活動、TOEFL ITP®テストの運営、Criterion®をはじめとするETS公式プロダクトの普及促進活動などを行っています。
CIEE日本代表部は2018年9月から「一般社団法人 CIEE国際教育交換協議会」となりました。なお英語表記は「CIEE Japan」です。